

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年12月22日（金）
- 2 確認箇所
多核種除去設備等処理水 測定・確認用設備
（既設ALPSサンプルタンク）
- 3 確認項目
多核種除去設備等処理水の試料採取状況

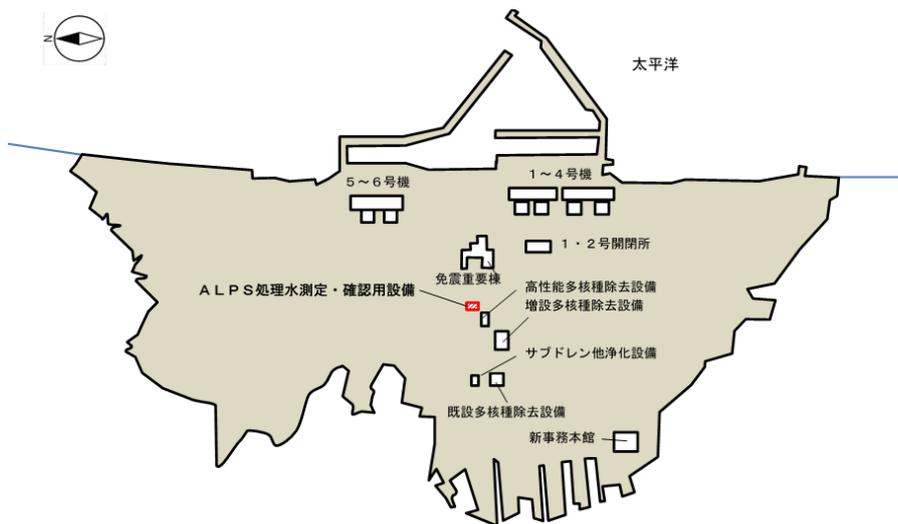
4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋への希釈・放出に際して、東京電力は、希釈前のALPS処理水の放射能濃度や水質を測定し、トリチウム濃度以外、法令上の基準を満足することを確認することとしている。（トリチウムは海水で希釈して法令上の基準を満足させる。）

東京電力では、ALPS処理水の第4回目の放出に向けて、K4タンクエリアE群及びK3タンクエリアA群のタンクに貯留しているALPS処理水を測定・確認用タンクB群に移送後、12月15日から6日間の循環攪拌運転を行った。

本日は、循環攪拌運転が完了したB群のALPS処理水の試料採取が行われることから、その状況や手順を確認した。（図1）（前回確認：令和5年7月10日）

- ・試料採取は、循環ポンプが設置されている建屋において、試料採取専用の系統から行われた。（写真1）
- ・試料採取の際、配管のフラッシング（配管内部の水の除去）が行われた後、測定対象及び測定機関ごとに容器を分けて試料の採取が行われていた。（写真2）
- ・試料採取時間（＝試料採取終了時刻）が確定した後、各容器には、採取時間、資料名等を記載したラベルが貼り付けされていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
試料採取の状況



(写真2-1)
採取された試料の状況①



(写真2-2)
採取された試料の状況②



(写真3)
試料ラベル付けの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。